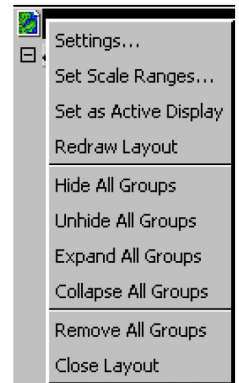


# レイアウトの右マウスボタン操作

表示処理は、〈表示マネージャ〉ウィンドウと、表示ウィンドウの [ 凡例表示 (LegendView) ] に右マウスボタンメニュー (Right Mouse Button Menu : RMBM) を備えています。TNT2006:72 の表示処理の再設計によって、それまでアイコンやメニューの上で左マウスボタンを使って利用していた機能の多くが、〈表示マネージャ〉中の右マウスボタンメニュー (RMBM) に統一されました。このテクニカルガイドは、〈表示マネージャ〉リストのレイアウトアイコンや名前の上で右クリックした時に利用できるオプションについて解説しています。レイヤやグループアイコンの右ボタンメニュー (RMBM) については他のテクニカルガイドで説明しています。『空間データの表示: 表示マネージャでのマウス操作 (Spatial Display : Mouse Actions in the Display Manager)』と題するテクニカルガイドでは、左クリックの操作と、マウスカーソルを置いたときの挙動について説明しています。

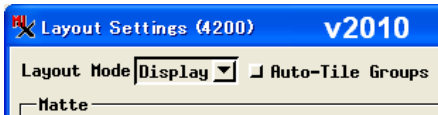


レイアウトアイコンまたは名前の上で右クリックすると、右に示す選択肢を持つ右マウスボタンメニュー (RMBM) が現れます。

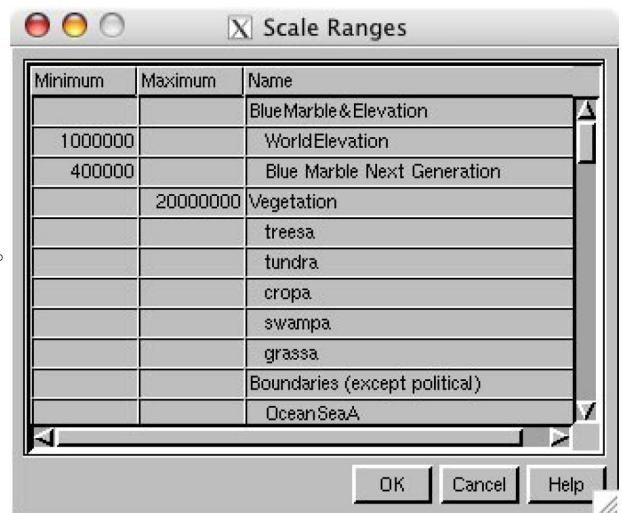


レイアウトの  
右マウスボタンメニュー

**設定 (Settings)** この選択肢から 〈レイアウト設定 (Layout Settings)〉ウィンドウが開きます (左図参照)。レイアウトアイコンの上で単に左クリックしても開きます。このウィンドウでレイアウトモードを表示 / ページレイアウト間で切り替えることができます。レイアウトに追加される新規グループに [ 自動タイルグループ (Auto-tile groups) ] を設定すると、[Add(加える)]>[Multiple Groups(複数グループ)] メニューから複数のレイヤを追加する際、すばやく横に並べることができます。[マット (Matte)] パネルでは、レイアウト全体にマットを生成できます。



**スケール範囲のセット (Set Scale Ranges)** 〈スケール範囲 (Scale Ranges)〉ウィンドウを開いて、表示キャンバスにレイヤやグループを表示する地図スケールの最小値 / 最大値を設定できます。表示中の全てのレイヤが〈スケール範囲〉ウィンドウにリストアップされます。この図では [名前 (Name)] のカラムにあるいくつかの項目がインデントされています。グループ名はインデントなしですが、グループ中のレイヤ名はインデントしてグループ名の下に並んでいます。地図スケールの最小値と最大値はグループ全体に対して (例えば、右図の BlueMarble & Elevation グループ)、もしくは個々のレイヤに対して (WorldElevation、Blue Marble Next Generation レイヤ) 設定できます。最小値フィールドの入力値は、グループやレイヤが表示される最小のスケール数 (地図縮尺の分母、つまり縮尺 = 1 : スケール数) です。言い換えれば、そのスケールを超えてズームするとグループやレイヤは表示されず、逆にそのスケールを超えてズームアウトするとグループやレイヤは描画されます。最大値フィールドの入力値は、グループやレイヤが表示できる最大のスケール数です。つまり、そのスケールを超えてズームするとレイヤは表示され、逆にそのスケールからズームアウトするとレイヤは描かれません。最小値と最大値の両方を設定すると、あるスケール範囲の時だけ表示キャンバスにレイヤが表示されます。




スケール範囲はグループやレイアウトなど、全ての表示タイプに対して設定できます。〈スケール範囲〉ウィンドウには、表示する全てのグループやレイアウトが含まれます。表示する 2 次元または 3 次元グループが 1 つしかない場合、〈スケール範囲〉ウィンドウにはインデントはありません。グループやレイヤは描画順に並んでいます (〈表示マネージャ〉の並び順で言うと下から上に向かって)。


**アクティブ表示としてセット (Set as Active Display)** 対象の表示タイプをアクティブにします。表示ウィンドウは最前面に移動し、〈表示マネージャ〉リストにおいて太字で表示されます。リスト中の任意の表示タイプの上で左クリックしてもアクティブにできます。

**レイアウトの再描画 (Redraw layout)** 現在のズーム率と位置でレイアウトを再描画します。

**全てのグループを非表示 (Hide All Groups)** 全てのグループの表示 / 非表示チェックボックスをオフにします。この選択を行うと、言うまでもなく表示キャンバス上には何も描かれませんが、多くのグループの中から一部のグループだけを表示するのに便利です。このメニューを使って全てを非表示にしてから、表示したいグループのみを個別に表示オンにします。

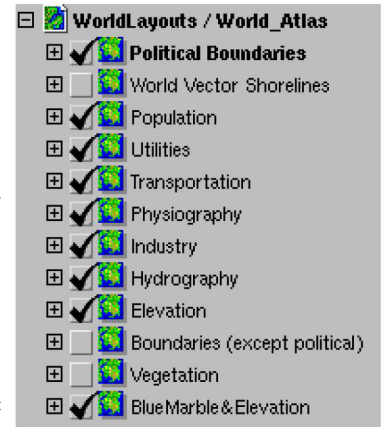
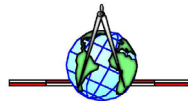
**全てのグループを表示 (Unhide All Groups)** レイアウト中の全てのグループの表示 / 非表示チェックボックスをオンにします。ただし描画は、地図スケールやその他の設定にも左右されます。

**全てのグループを拡大 (Expand All Groups)** リスト中の全てのグループを展開し、レイヤを表示します (右下の図)。グループ名の左側の  [展開 (Expand)] アイコンを全て左クリックしても展開できます。グループを展開すると、次にレイヤも展開できます。

**全てのグループを閉じる (Collapse All Groups)** 現在の展開の状態に関わらず、リスト中の全てのグループを折り畳んで、グループ名だけのリスト表示をします (右上の図)。グループ名の左側の  [格納 (Collapse)] アイコンをクリックしても格納できます。

**全てのグループを消去 (Remove All Groups)** レイアウトから全てのグループを消去します。レイアウトを閉じて新規レイアウトを開くのと同じです。

**レイアウトを閉じる (Close Layout)** レイアウトを閉じる際、変更を保存するかどうかの質問が出ます (プロンプトを出す設定を行い、レイアウトを変更した場合)。



グループを折り畳んだ



グループを展開

